



## みなもとのよりとま かまくら ばくふ ひら 源頼朝 はなぜ鎌倉に幕府を開いたの

### まも ちけい 守りやすい地形だった

かまくらし きた ひがし にし さんぼう ひょうこう さんち かこ  
鎌倉市は、北・東・西の三方を、標高50～100メートルくらいの山地に、囲ま  
れています。山地のふもとは、谷が多い、複雑な地形です。市の南側は、相模湾に面してい  
ます。頼朝の時代には、まわりの山と海が、敵の攻撃を防ぐのに、つごうのよい土地とされ  
ていました。

### げんじ とち 源氏とゆかりのある土地だった

へいあんじだい ねん いま ち ばけん しはい たいらのただつね はらん お  
平安時代の1028年に、今の千葉県あたりを支配していた平忠常が、反乱を起こしま  
した。忠常を降伏させたのは、源頼信です。そして、このことが、源氏が東国に勢力を  
広げるきっかけになりました。この乱のあと、鎌倉に住んでいた平直方が、娘を、頼信の  
子の頼義と結婚させました。そこで、頼義や、その子の義家は、鎌倉に住んだといわれてい  
ます。これ以後、鎌倉は、源氏が東国で勢力を広げるための根拠地となりました。頼朝の父  
の義朝や、兄の義平も、鎌倉に住んでいました。

### きょうと ところ 京都から、はなれた所にいたかった

へいあんきょう ができてから、きょうと てんのう じょうこう くげ じぶん ちゅうしん せいじ おこな  
平安京ができてから、京都は、天皇・上皇や公家が、自分たちを中心とする政治を、行  
ってきた所です。そこでは、古くからのさまざまなしきたりが、守られています。頼朝を  
中心とする武士たちが、自分たちを中心とする、新しい政治のしくみをつくり、育てて  
いくには、てんのう じょうこう くげ き やくしよく かんい ふる  
天皇・上皇や公家たちが決める役職（官位）や、古いしきたりなどにとらわれ  
ない、あた かんきょう ひつよう 頼朝が鎌倉に幕府を開いた、おもな理由  
です。（監修・田代 脩）

